

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	くめんたるーむ				公表日	2025 年 3 月 29 日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0	利用児童に合わせて狭いスペースと広いスペースを使い分けている点	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の数配置は適切であるか。	4	2		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	0	靴箱にマークをしたり、見通し表を使うなど視覚的なものを取り入れている。バリアフリー化されている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	2	清掃は丁寧にしている。より清潔であるよう、危険がないよう心がけている。	事務室の通路が狭い
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	1	利用児童に合わせて狭いスペースと広いスペースを使い分けている点	かんしゃくの対応部屋がない
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	3	3		職員全体で振り返りを行う時間が不足していると感じる
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	2		次年度では意見ポストなど、意見をより取り入れられる工夫を進めていきたい。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1		全体での振り返りの機会を含め、意見を言う機会をつくるよう取り組む
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	3		来年度実施予定
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3	3	事業所内だけでなく、市の研修、同グループの医療機関との合同研修を行っている	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	プログラムは全員で共有し、実施した時の様子を含めて記録を行っている。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6	0		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	1	利用開始やモニタリング時など定期的にKIDSや独自のアセスメントを行っている。また、子どもの日々の様子や保護者との話からアセスメントし、職員で話し合い、計画に活かしている。担当者が固定化しないようにすることで、多角的に分析が行われるようにしている。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0	児童発達支援計画では家族支援・地域支援についても把握・配慮した内容になってはいるが、設定記載はしていない。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	当該担当者や児発管、以前担当者で相談して行っている。	

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	担当者が固定化しないようにしたり、必ず最近行われたプログラムなどを確認するようにしている。ただし、利用開始から間もない時や低年齢などは、子どものわかりやすさから一部固定化もある。	やや固定されている職員もいるため、チームでの検討を定期的に行うことで固定化しないよう改善していきたい
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	個別の時間と集団活動の時間を設け、子どもの段階や特性を踏まえて行っている。個別指導の方が望ましい段階のお子さんには個別で対応できることが多い。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	1		非常勤など時間が限られている職員への共有方法を工夫し、より連携できるように改善していきたい
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	1	支援について気づいたことを職員間で共有するために話し合いをしたり、振り返りシートなどの記録などを使って情報共有をしている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	支援について振り返りシートなどの記録などを使って情報共有をしている。	支援についてシートをもとに各々が担当に質問をする形で行っているが、全体での検証をする時間をより取れるように改善していきたい
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	年2回の振り返りは行っている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	当該児の幼稚園や保育所、他事業所等などの関係機関連携を児童発達支援管理責任者や担当者などを中心に参画している	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0	当該児の幼稚園や保育所、他事業所等などの関係機関連携を児童発達支援管理責任者や担当者などを中心に参画し、情報共有を定期的に行っている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	0	保育所や幼稚園など連絡帳などのツールも利用しながら支援内容等の情報共有や相互理解を得る場を設けている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	0	関係機関連絡票などを作成し、情報共有を行ったり、面談などで当該時の状況や支援内容などの情報共有を図っている。	
	28	(28~30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	4	2	地域の発達支援センターの研修等に参加するな	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	3	3	利用児童がいる園に訪問することはあるが、直接一緒に活動する機会はない。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	毎回のフィードバックの時間で様子を伝えたり、家庭や幼稚園・保育園の様子などの共有を図っている。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	0	具体的には行っていないが、個別に家庭での対応についてアドバイスを行っている。地域へのセミナーとしてペアレントトレーニングを行い、利用児童の家族にも参加してもらった。また、地域の子育て支援会議での情報を施設内に貼るなどして情報提供を図っている。		
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0			
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0			

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6	0	支援計画の説明をし、質問・疑問がないか確認している。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	職員で共有し、支援内容を相談して伝えている。日頃から変わった所はないか気を配り、気になる事があれば話を聞くようにしている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	1	保護者会は未実施。 小集団での療育を実施するようになって、その際交流は少し行われるようになっている	保護者会など交流のきっかけづくりを行っていききたい
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	0		
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0		
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	0	講演会やセミナーなどを実施し、地域の方々に周知してもらえる機会を設けた	講演会の集客について、まだまだ知られていない様子があるため、どのような形で知ってもらえるのか検討していきたい
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	1		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4	2	服薬等については連携しているクリニックとや保護者を介しての情報協共有が主になっている。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0	食べ物の提供がなされる際には、必ず保護者に成分表などを事前に確認してもらい、対応している。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0		
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	1	事業所内だけでなく、市の研修、同グループの医療機関との合同研修を行っている	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6	0		